

第98期 報告書

平成21年4月1日 ▶ 平成22年3月31日まで

BUSINESS REPORT

株主の皆様へ

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な景気低迷が続く中、政府の経済対策の効果や、新興国を中心とした海外経済の回復により輸出が増加するなど、景気後退の局面から一時持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、企業収益や雇用情勢は依然低水準にとどまり、消費者の生活防衛意識の高まりから節



株主の皆さまには、平素から格別のご支援を賜わり、厚くお礼申し上げます。
ここに小松精練株式会社の第98期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の業績についてご報告申し上げます。

約志向、低価格志向が一段と加速し日本経済は長期的なデフレに進行するなど、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは攻めの経営方針を崩さず、今後の成長に向けた新素材開発や非価格競争力のある素材開発と、国内外での積極的な展示会の開催等による新規市場開拓、また多角化に向けた新規事業などに経営資源の投入を行いました。同時に、グループ一丸となって徹底したムダ・ロスの排除や、環境変化に対応したフレキシブルな生産体制を実施するなど、経営の効率化をはかり利益体質の強化に努めました。これらの成果は期後半に表れてきましたが、市況低迷の影響は避けられず通期では前年を下回る業績となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、31,648百万円(前期比19.2%減)となり、営業利益は807百万円(前期比19.8%減)、経常利益は1,147百万円(前期比19.1%減)、当期純利

益は793百万円(前期比11.3%減)となりました。

この業績を踏まえ、当期の期末配当金につきましては、普通配当は1株当たり6円とさせていただき、中間配当金と合わせた年間配当金は1株当たり12円となりました。

今後におきましても、依然として予断を許さぬ厳しい状況が続くものと思われまふ。当社グループはこの苦難の時を「オール営業の精神」で「全てはお客様のため」という謙虚な気持ちでお客様と真剣に向き合い、お客様から選んでいただける企業を目指し、更なる企業価値の向上に努める所存であります。

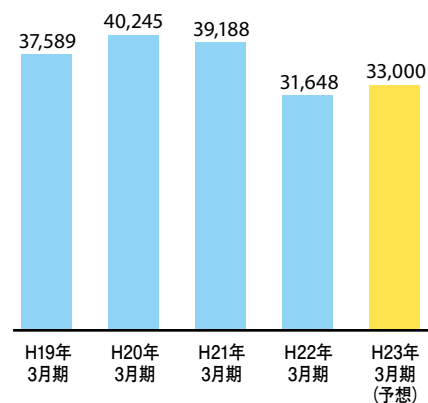
株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

代表取締役社長 蓮本 英信

売上高

(百万円)

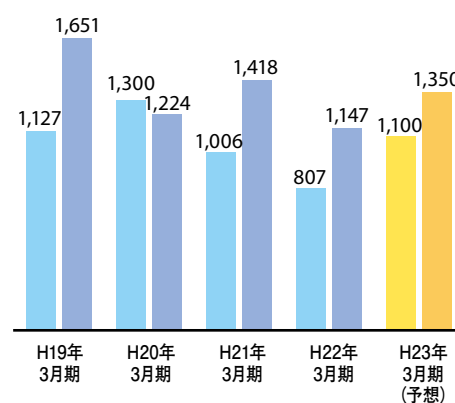
■ 売上高 (通期)



営業利益・経常利益

(百万円)

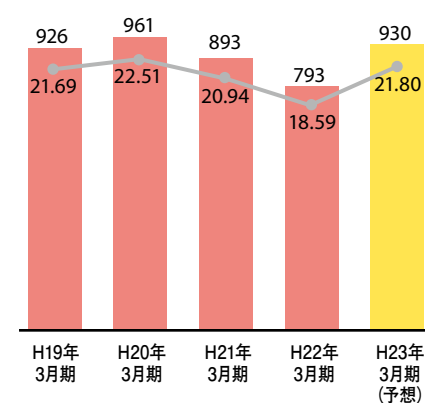
■ 営業利益 (通期)
■ 経常利益 (通期)



当期純利益・1株当たり当期純利益

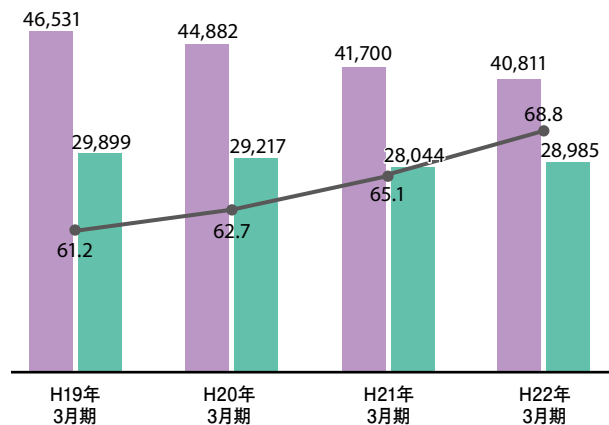
(百万円)

■ 当期純利益 (通期)
● 1株当たりの当期純利益 (通期) (円)



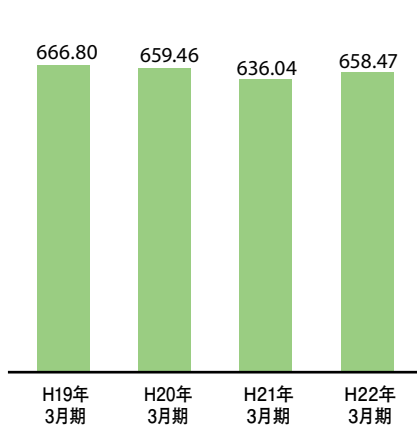
総資産・純資産・自己資本比率

■ 総資産 (百万円)
■ 純資産 (百万円)
● 自己資本比率 (%)



1株当たり純資産

■ 1株当たり純資産 (円)



次期の見通し

リーマンショック以降の二番底の懸念は回避されつつも、雇用情勢や個人消費の回復までには時間がかかり、依然としてデフレ基調が継続すると予想されます。また、経済回復を主導する中国をはじめとするアジア諸国の参入に伴う国際競争が激化し、資源不足による原燃料価格の上昇も懸念されるなど、依然として厳しい局面が継続すると予想されます。

このような状況の中、当社グループは攻めの姿勢を崩さず、反転拡大を目指し①連結経営の強化 ②商品開発力の強化 ③輸出の強化 ④新規事業の拡大 ⑤強力なコストダウンの推進、を次期の基本方針とし、増収増益を目指します。

具体的にはグループ企業の連携強化をより進め、生産コストの低減とロス削減はもちろ

んのこと、商品開発及び市場開拓の方向性を統一させ、シナジー効果を高めるとともに、全体最適を見据えた市場別の商品戦略を組み、最適生産、最適販売を追及し、売上拡大を目指します。海外戦略については欧州・北米・中国を重点市場と位置づけ、販売代理店との連携を強化し市場・用途の開拓を図り自販輸出拡大を目指します。また小松精練（蘇州）有限公司への技術移管等により連携・補完を強化させ、国際競争力の高い商品の販売を加速化させます。さらに非衣料分野については、市場セグメンテーションに基づいた商品開発の強化により事業の拡大を図ります。

これらの取り組みを、グループ一丸となり推進することにより、平成23年3月期の業績を次の通り見込んでいます。

次期の見通し（平成23年3月期）		前期比
■ 売上高	33,000 百万円	+ 4.3%
■ 営業利益	1,100 百万円	+ 36.2%
■ 経常利益	1,350 百万円	+ 17.6%
■ 当期純利益	930 百万円	+ 17.2%

事業別売上状況

平成21年4月1日から平成22年3月31日

■ 繊維事業

衣料ファブリック部門は、「ルガーノ」「モナリザ」などの高感性素材がファッション分野で順調に拡大し、スポーツ分野では機能ニット素材や差別化ナイロン素材が堅調に推移しました。しかしながら、世界的な消費不振やデフレの進行、また新興国からの廉価なアパレル輸入量の増加、さらにはドバイショックの影響による中東民族衣装の低迷などの影響を受け、量的縮小が避けられず前期比減収となりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉分野が堅調に推移、また車輻分野が政府の経済政策が功を奏して自動車販売台数が徐々に回復基調となったものの、期前半の自動車メーカー減産による影響が大きく、前期比減収となりました。

製品部門は、ODM推進による製品染めなどが堅調に推移するも、天候不順の影響を受け水着等の販売不振により前期比減収となりました。

以上の結果、繊維事業の売上高は前期比20.1%減の30,738百万円となりました。

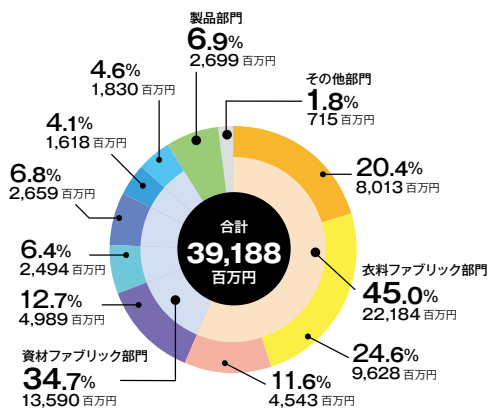
■ その他事業

物流分野が堅調に推移し、また商事分野の小松エージェンシー(株)を連結子会社に加えた結果、その他事業の売上高は前期比27.3%増の910百万円となりました。

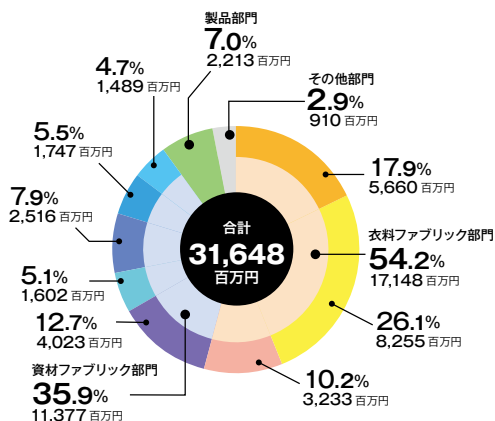
消費地別売上状況

平成21年4月1日から平成22年3月31日

スポーツ ファッション 民族衣装 リビング
車両 生活資材 医療・福祉 電材・その他



平成21年3月期



平成22年3月期

国内 海外 単位：百万円

平成21年3月期

25,591

13,555

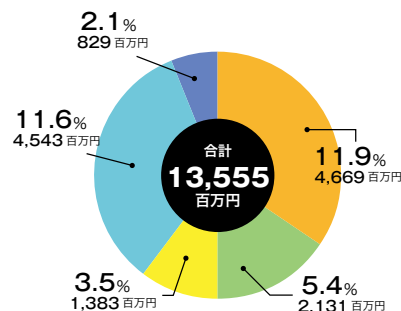
平成22年3月期

20,827

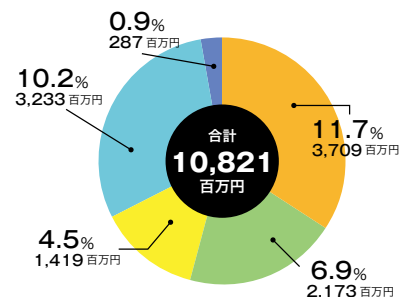
10,821

海外売上高の内訳

ヨーロッパ 北米 中・韓・台・東・東南アジア 中東 その他



平成21年3月期



平成22年3月期

国内売上高

医療福祉分野での機能性ニット素材やファッション分野を中心としたデジタルプリントファブリック「モナリザ」が新しい市場を開拓するなど、戦略的商品は堅調に推移しました。しかしながら、汎用品を中心に市況低迷の影響は避けられず、またデフレの進行や新興国からの廉価な製品輸入増加の影響を受け、衣料ファブリック、資材ファブリックともに減少し前期比18.6%減の20,827百万円となりました。

海外売上高

経済成長を遂げている中国向けの売上は堅調に推移し、特に小松精練（蘇州）有限公司の中国国内向けや欧米向けは拡大基調となりました。しかしながら、世界的な不況の長期化や為替の影響等もあり、欧米向けの衣料ファブリック（特にアウトウエアを中心とした一般向けスポーツ衣料）の落ち込みが大きく減少しました。また、これまで堅調だった中東向けはドバイショックの影響を大きく受け減少するなど、海外売上高は全体として低調に推移し、前期比20.2%減の10,821百万円となりました。

TOPICS

展示会ダイジェスト

国際競争力の高い商品の開発を強化 国内外の展示会に積極的に出展

小松精練は、経営環境の厳しい中、攻めの姿勢を崩さず衣料ファブリック、資材ファブリックともに、単独個展の開催や各種展示会への出展を積極的に推進しています。

衣料ファブリック関連は、海外販売を加速させるため、国際競争力の高い商品の開発を強化し、従来の欧州中心の展示会開催に加えて、経済発展

が著しい中国や韓国でも意欲的に個展を開催しています。資材ファブリック関連も同様に、市場セグメンテーションに基づいた商品開発を強化し、国内外の展示会に積極的に出展しています。

当社は今後も国際競争力の高い驚きと感動ある先端ファブリックの開発に努め、世界中の人々から選ばれる企業を目指していきます。



GARDEX国際ガーデンEXPO 2009年11月



中国・深圳 単独個展 2010年4月



フランス・パリ 単独個展



ブルミエールヴィジョン 2010年2月

開催月	展示会名	分野
2009年 7月	フランス・パリ 単独個展	ファッション衣料
2009年 8月	いしかわ環境フェア	屋上緑化材(グリーンビズ-G)
2009年 9月	イタリア・ミラノ 単独個展	ファッション衣料
2009年 9月	フランス・パリ ブルミエールヴィジョン	ファッション衣料
2009年10月	2009中国蘇州電子情報博覧会	電材関連 (特殊フィルム)
2009年11月	GARDEX 国際ガーデンEXPO	屋上緑化材(グリーンビズ-G)
2009年12月	東京・青山 単独個展	ファッション衣料
2010年 2月	フランス・パリ・ブルミエールヴィジョン	ファッション衣料
2010年 2月	nano tech 2010	電材関連 (特殊フィルム)
2010年 3月	建築・建材展2010	新建材 (グリーンビズ)
2010年 4月	ファインテック ジャパン	電材関連 (特殊フィルム)
2010年 4月	中国・深圳 単独個展	ファッション衣料
2010年 5月	韓国・ソウル 単独個展	ファッション衣料
2010年 6月	PV japan2010 (次世代太陽電池展)	電材関連 (特殊フィルム)
2010年 6月	東京・青山 単独個展	ファッション衣料

受賞報告



織研合織賞グランプリを受賞 ▶ 2010年3月

デジタルプリントファブリック「モナリザ」

小松精練のデジタルプリントファブリック「モナリザ」は、業界で最も歴史と権威があり、今年で40回を数える「織研合織賞」のグランプリを受賞しました。「織研合織賞」は、織研新聞社が化繊産業の発展を期待し、その年の優れた技術、素材開発や企画、マーケティング、販売に贈られるものです。

「モナリザ」は1,670万色という豊富な色数と、それをコントロールする繊細でかつ、精度の高い技術の

確立により、「鮮明度およびカラーバリエーションにおいて限界を超えた」との高い評価をいただき、イッセイミヤケやアツロウ・タヤマなど、国内外問わず著名ブランド、アパレルに多数採用されています。

小松精練は、これからも新鮮で驚きと感動のある素材開発を進め、素材のチカラで世界中を鮮やかに変えていきます。



第23回中日産業技術賞 特別奨励賞を受賞 ▶ 2009年12月

小松精練の屋上緑化材「グリーンビズ-G」

優れた産業技術や製品開発の成果を顕彰するため中日新聞社が創立した「中日産業技術賞」において、当社の屋上緑化材「グリーンビズ-G」が、特別奨励賞を受賞しました。特に染色排水浄化の過程で発生する産業廃棄物を有効活用して無かん水型の屋上緑化材の開発に成功した点が、識者による審査委員会で高く評価されました。

た。

なお、今回のグランプリは、トヨタ自動車の「新ハイブリッドシステムの開発」でした。当社の受賞した特別奨励賞は次賞ですが、超大手の企業と並んで、栄えある受賞となりました。



小松精練4階より撮影

特集 グリーンビズ

緑の地球へ 屋上から戻していきませんか

“エコ”って1回はまるとクセになる。

屋上の緑が増えていくと、なんだかとてもうれしくて。

まるで屋上が呼吸をしているようで、ついつい毎日、屋上に出てしまう。

誰かのために、地球のためになんて、ちょっとした優越感も味わえたりする。

屋上から緑を増やしていく、ちょっとうれしいエコ活動。

緑の地球へ。みなさまも『グリーンビズ』から始めませんか。

屋上から地球環境を変える注目の 屋上緑化基盤材『グリーンビズ』 販売・施工実績が全国に広がっています

2009年度から本格展開を開始した超微多孔発泡セラミックス『グリーンビズ』による屋上緑化事業は、全国レベルの展示会への積極的な出展、広報活動などで着実にその認知度を高めています。販売・施工実績も、北陸地区から始まり、東京、神奈川、大阪など、全国に広がっています。

また、市場ニーズの高い壁面緑化への展開も図っており、近々上市予定です。地元の大学との共同研究で、環境への貢献効果も実証され、屋上のみならず、室内緑化や砂漠緑化の試験にも着手しています。

石川県生まれの屋上緑化材
greenbiZ-G
グリーンビズ-G



セダム、芝生、コケなど
植栽可能

基盤がスゴイ！

- ・不燃(燃えない)
- ・リサイクル可能
- ・無機質無害
- ・おどろくほどの吸水性と保水性
- ・断熱・保温効果
- ・施工が簡単

環境貢献の効果

ヒートアイランド現象を抑制

グリーンビズを用いた屋上緑化システムが薄層緑化としてトップレベルのヒートアイランド現象の緩和効果を有していることが、金沢大学と当社の研究チームによって実証されました。

セダム緑化はヒートアイランド現象の抑制効果が少ないという課題を、吸水性、保水性

に優れた当社のグリーンビズが解決し、実証実験では芝生と同等の抑制効果が得られました。しかも、グリーンビズはローメンテナンスで不燃、リサイクルも可能なため、理想的な屋上緑化基盤材であると結論付けています。当社の独自技術で、都会の熱帯夜を解決する日を目指しています。(図1)

貫流熱削減

夏の流入熱、冬の流出熱 大幅カット

グリーンビズ基盤の優れた断熱性による省エネ効果の実証実験を、金沢工業大学 地域防災環境科学研究所で行ないました。

無処理区対比で、グリーンビズ-G敷設区は、夏期で流入熱を約80%カット、冬期は流出熱の約45%を抑制するといった優れた性能

を示しました。特に、冬期は室内の熱エネルギーの外部への流出量が大きく、効果的であるという結果もだされました。空調負荷を減らすことで、グリーンビズ-Gを1㎡敷設することで、年間9.28kgのCO₂を削減出来ることが証明されました。(図2、3)

施工例

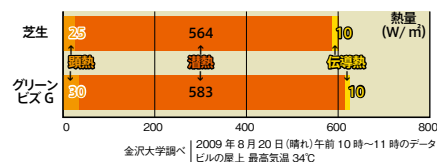
石川県の新しい顔にも採用される

2009年4月に当社グループの事業として本格的にスタートしたグリーンビズは、大きな反響を呼び、旧石川県庁を活用した「しいの木迎賓館」の2Fデッキ部分をはじめ、金沢大学の先進医学研究センター、金沢工業大学、身近なところでは小松市の丸の内中学校

などで採用されています。

今年6月にはトーケンの東京事務所も開設しており、すでに東京日本橋の一般マンション(三井不動産)や東京ミッドタウンのスポーツクラブから受注が入るなど、採用が広がってきています。(写真右)

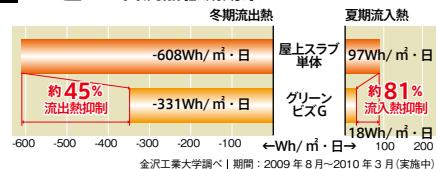
1 「グリーンビズG」のヒートアイランド現象抑制効果



2 ビル屋上での熱収支モデル



3 ビル屋上の貫流熱低減効果



しいの木迎賓館(旧石川県庁)

新商品・新開発



新素材開発 ▶ 2010年2月 「ハニービンテージ」

「ハニービンテージ」は、小松精練が欧州のお客様より「エレガントでドレッシーな素材を開発して欲しい」という高い要望を受け、約2年の開発期間を経て完成したファブリックです。

この「ハニービンテージ」は当社が独自に設計した設備で特殊染色（3D染色）を行い、糸の収縮バランスを三次元でコントロールし、糸本来が持つ性質を

最大限に引き出しています。また独自開発した特殊薬剤をナノレベルで繊維一本一本に被膜浸透させることでナチュラルな膨らみ感を生み出し、フェミニンで甘く優しい素材に仕上がっています。

今年2月に欧州先行で販売を開始したこの「ハニービンテージ」は、お客様のご期待に応え大型商品として販売拡大しています。

世界初の試み ▶ 2010年3月

打面に「DIMA（ディマ）」を使った電子ドラム

世界で初めて、打面（表面）に合成皮革を使用した電子ドラムが2010年3月にYAMAHAから発売されました。この世界初の試みに、小松精練の第5工場が開発された素材、「DIMA（ディマ）」が採用されています。

この電子ドラムは、当社の「DIMA」及びヤマハ独自開発の成型技術で、不自然な跳ね返りを抑えつつ、トップドラマーも満足する絶妙なる反発感を実現しています。また、スティックで叩いた際に、表面の当社の「DIMA」及び内部の気泡がクッションの役割を果たし、ス

ティックの衝撃を吸収するため、従来のドラムパッドより静粛性に優れ、自宅での練習にも適しています。

高度な弾力性と柔軟性を持つ当社が開発した特殊ウレタンフィルム「DIMA」が、従来の電子ドラムを上回る快適な打感と演奏性の一役を担っています。



新作の“白の透けない水着”

華々しくデビュー ▶ 2010年5月

奥野史子さんがこだわり 抜いた「ミラクルホワイト」

小松精練はバルセロナ五輪メダリスト奥野史子さんと昨年アドバイザー契約を結び、“FUN SWIM” “JOY SWIM”をコンセプトとし、奥野さんのこだわりぬいた素材とアイデアを取り入れたスイムウェアブランド「NENE FUMIKO OKUNO」を立ち上げています。2シーズン目となる今年は、奥野さんからの強い要望で“女性を美しく見せる白の水着”の開発に着手し、華やかさに機能性をプラスした、透けない白の水着“ミラクルホワイト”を発表しました。

“ミラクルホワイト”は昨年発表した水着用撥水素材「ドライサラEX」に“赤外線盗撮防止機能”と“透け防止機能”の両方の機能を併わせ持ったハイブリッド素材を使用しています。また、胸元には大胆な花柄とラインストーンをふんだんに散りばめているため、「今までに無かった華やかな水着」と発売即、入荷待ちとなるほどの人気です。



モデル：奥野史子さん

温室効果ガス大幅削減 ▶ 2010年4月

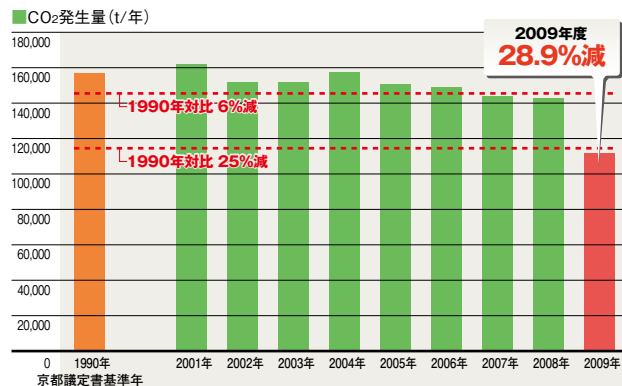
1990年対比25% 削減をすでにクリア 屋上緑化材「グリーンビズ-G」でさらなる削減に取り組む

小松精練グループは温室効果ガス（二酸化炭素：CO₂）削減に向けて積極的に取り組んでいます。

2007年度には美川工場及び隣接するグループ会社㈱ケイズテックにおいて使用する燃料をCO₂発生量の少ない液化天然ガス（LNG）に転換、さらに2009年度には本社工場およびグループ会社ケーエス染色㈱もLNGへの転換を図りました。

その結果2009年度は約29%（1990年対比）のCO₂削減効果が得られ、これは「日本が2020年までに1990年対比25%削減する」という目標値を既にクリアしています。

さらに当社が開発した屋上緑化材「グリーンビズ-G」を本社棟、食堂、工場等、およそ2,200㎡の屋上に設置するなど、これからもCO₂削減に向けた取り組みを積極的に進めています。



清掃奉仕活動の実施 ▶ 2009年7月・10月

社員・家族1,400名が参加し 海岸および運動公園の清掃を実施

小松精練グループは、企業理念の一つである「地球・社会に貢献する」活動の一環として、7月に本社工場近隣の海岸清掃、10月には地元能美市内の運動公園の清掃を行いました。両日でグループ社員およびその家族、延べ1,400名が参加し、総量で約10tのごみを回収することができました。

石川の恵まれた自然の保護と、日頃の企業活動に対して深くご理解をいただいている地域住民の方々へ感謝の気持ちを込めて、毎年この清掃活動を実施しております。これからも当社グループは、さまざまな活動を通して社会貢献を目指していきます。

連結貸借対照表の要旨

平成22年3月31日現在

資産の部

科 目	金 額
■ 流動資産	23,315
現金及び預金	6,258
受取手形及び売掛金	7,691
有価証券	4,859
たな卸資産	4,054
繰延税金資産	138
その他	396
貸倒引当金	△ 84
■ 固定資産	17,496
[有形固定資産]	8,631
建物及び構築物	3,470
機械装置及び運搬具	2,757
土地	2,132
その他	271
[無形固定資産]	284
[投資その他の資産]	8,580
投資有価証券	6,922
繰延税金資産	1,350
その他	329
貸倒引当金	△ 22
資産合計	40,811

負債の部

科 目	金 額
■ 流動負債	7,196
支払手形及び買掛金	5,338
短期借入金	510
未払金	283
未払法人税等	256
賞与引当金	205
その他	602
■ 固定負債	4,629
退職給付引当金	4,071
役員退職慰労引当金	392
繰延税金負債	63
その他	103
負債合計	11,826

純資産の部

科 目	金 額
■ 株主資本	28,128
資本金	4,680
資本剰余金	4,720
利益剰余金	18,939
自己株式	△ 212
■ 評価・換算差額等	△ 34
その他有価証券評価差額金	94
為替換算調整勘定	△ 128
■ 少数株主持分	891
純資産合計	28,985
負債・純資産合計	40,811

連結損益計算書の要旨

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	金 額
■ 売上高	31,648
売上原価	26,192
売上総利益	5,456
販売費及び一般管理費	4,648
■ 営業利益	807
営業外収益	368
受取利息及び配当金	125
持分法による投資利益	107
その他	135
営業外費用	28
為替差損	4
その他	24
■ 経常利益	1,147
特別利益	258
国庫補助金	232
その他	26
特別損失	227
固定資産除却損	14
固定資産圧縮損	201
その他	10
■ 税金等調整前当期純利益	1,179
法人税、住民税及び事業税	260
法人税等調整額	110
少数株主利益	14
■ 当期純利益	793

連結株主資本等変動計算書の要旨

単位：百万円

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計		
平成21年3月31日残高	4,680	4,720	18,659	△ 210	27,849	△ 547	△ 160	△ 708	903	28,044
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△ 512		△ 512					△ 512
当期純利益			793		793					793
自己株式の取得				△ 2	△ 2					△ 2
自己株式の処分			△ 0	1	0					0
その他						642	31	674	△ 12	662
連結会計年度中の変動額合計			280	△ 1	278	642	31	674	△ 12	941
平成22年3月31日残高	4,680	4,720	18,939	△ 212	28,128	94	△ 128	△ 34	891	28,985

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位：百万円

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	金 額
■ 営業活動によるキャッシュフロー	2,832
税金等調整前当期純利益	1,179
減価償却費	1,493
引当金の増減額（減少：△）	△ 338
売上債権の増減額（増加：△）	1,084
仕入債務の増減額（減少：△）	△ 1,213
たな卸資産の増減額（増加：△）	637
法人税等の支払額	△ 56
その他	46
■ 投資活動によるキャッシュフロー	△ 3,740
固定資産の取得による支出	△ 897
固定資産の売却による収入	3
有価証券の取得・売却（取得：△）	△ 1,699
投資有価証券の取得・売却（取得：△）	106
その他	△ 1,253

科 目	金 額
■ 財務活動によるキャッシュフロー	△ 516
短期借入金の純増減額（減少：△）	△ 2
配当金の支払額	△ 511
その他	△ 2
■ 現金及び現金同等物に係る換算差額	2
■ 現金及び現金同等物の増減額（減少：△）	△ 1,421
■ 現金及び現金同等物の期首残高	7,477
■ 連結範囲変更に伴う影響額	83
■ 現金及び現金同等物の期末残高	6,139

貸借対照表の要旨

平成22年3月31日現在

資産の部

科 目	金 額
■ 流動資産	20,598
現金及び預金	4,782
受取手形及び売掛金	6,793
有価証券	4,859
たな卸資産	2,905
関係会社貸付金	1,060
繰延税金資産	126
その他	149
貸倒引当金	△ 80
■ 固定資産	16,337
[有形固定資産]	5,591
建物及び構築物	2,357
機械装置及び運搬具	1,480
土地	1,516
その他	236
[無形固定資産]	71
[投資その他の資産]	10,674
投資有価証券	4,948
関係会社株式	3,949
関係会社長期貸付金	220
繰延税金資産	1,292
その他	275
貸倒引当金	△ 12
資産合計	36,935

負債の部

科 目	金 額
■ 流動負債	5,720
支払手形及び買掛金	4,760
未払金	173
未払法人税等	191
賞与引当金	191
その他	402
■ 固定負債	4,287
退職給付引当金	3,830
役員退職慰労引当金	392
その他	65
負債合計	10,007

純資産の部

科 目	金 額
■ 株主資本	26,832
資本金	4,680
資本剰余金	4,720
利益剰余金	17,643
自己株式	△ 212
■ 評価・換算差額等	95
その他有価証券評価差額金	95
純資産合計	26,928
負債・純資産合計	36,935

損益計算書の要旨

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科 目	金 額
■ 売上高	25,125
売上原価	20,876
売上総利益	4,248
販売費及び一般管理費	3,636
■ 営業利益	612
営業外収益	320
受取利息及び配当金	202
その他	118
営業外費用	2
為替差損	2
その他	0
■ 経常利益	930
特別利益	242
国庫補助金	232
その他	10
特別損失	209
固定資産除却損	2
固定資産圧縮損	201
その他	4
■ 税金等調整前当期純利益	964
法人税、住民税及び事業税	199
法人税等調整額	137
■ 当期純利益	627

株主資本等変動計算書の要旨

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成 21 年 3 月 31 日残高	4,680	4,720	17,528	△ 210	26,719	△ 548	26,171
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 512		△ 512		△ 512
当期純利益			627		627		627
自己株式の取得				△ 2	△ 2		△ 2
自己株式の処分			△ 0	1	0		0
その他						644	644
事業年度中の変動額合計			114	△ 1	112	644	756
平成 22 年 3 月 31 日残高	4,680	4,720	17,643	△ 212	26,832	95	26,928

発行済株式数・株主数

発行済株式数 ● 43,140,999 株

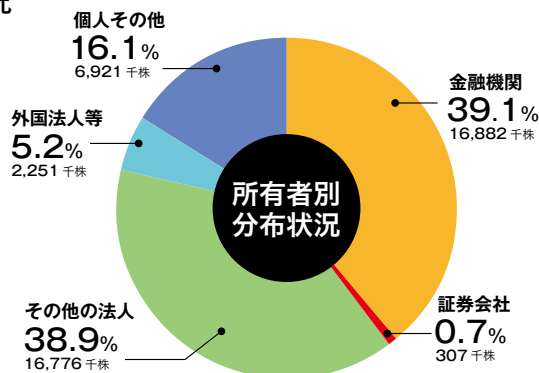
株主数 ● 3,394 名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
東レ株式会社	2,649 千株	6.21%
株式会社北國銀行	2,113 千株	4.95%
第一生命保険相互会社	1,550 千株	3.63%
日本生命保険相互会社	1,467 千株	3.44%
小松精練松栄会	1,329 千株	3.12%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,325 千株	3.11%
株式会社北陸銀行	1,263 千株	2.96%
三菱商事株式会社	1,250 千株	2.93%
住友信託銀行株式会社	1,230 千株	2.88%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,212 千株	2.84%

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



役員・執行役員

平成22年6月25日現在

役 職	氏 名
代表取締役会長	中山 賢一
代表取締役社長	蓮本 英信
取締役専務執行役員	石倉 幸雄
取締役専務執行役員	高木 泰治
取締役常務執行役員	池田 哲夫
取締役上席執行役員	橋爪 諭
取締役上席執行役員	山竹 俊樹
取締役執行役員	奥谷 晃宏
取締役執行役員	尾野寺 賢
取 締 役	橋本 和司
取 締 役	天雲 一裕
取 締 役	尾川 勝也
監 査 役	竹内 和也
監 査 役	本谷 佑久
監 査 役	香川 裕行
監 査 役	割出 雄一
執行役員	中村 正一
執行役員	折本 忠
執行役員	中山 大輔
執行役員	向 潤一郎
執行役員	米谷 俊泰

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417
URL	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/ service/daiko/index.html
1単元の株式の数	1,000株
公告の方法	電子公告の方法により行います。 http://www.komatsuseiren.co.jp/investor/index.html 上記ホームページの「電子公告」をクリックして下さい。 ただし、電子公告によることができない事故 その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

単元未満株式の買増・買取について

単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、単元株に不足する数の株式を当社から買増して単元株とすることができます。また、ご所有の単元未満株式の買取を当社にご請求することもできます。ご希望の場合、証券会社等の口座管理機関に口座を開設されている株主様は証券会社等宛に、特別口座にて管理させていただいている株主様は、特別口座の口座管理機関である住友信託銀行宛（上記の電話照会先）にお申し出ください。なお、手数料はいずれも無料となっております。

会社の概況

商号	小松精練株式会社
設立年月日	昭和18年10月8日
資本金	46億8,042万円
本社	〒929-0124 石川県能美市浜町ヌ167番地
本社工場	同上
美川工場	石川県白山市鹿島町1号7番地 1
大阪営業所	大阪市中央区本町 2丁目 5番7号（大阪丸紅ビル 4階）
東京営業所	東京都中央区銀座 3丁目 9番 7号（トランス銀座ビルディング 8階）
北陸営業所	石川県能美市浜町ヌ167番地（小松精練株式会社 本社 2階）
上海事務所	中国・上海市延安西路2200号（上海国際貿易センター1913号）

グループ企業

小松精練（蘇州）有限公司 染色加工	中国・江蘇省蘇州市
株式会社ケイズテック 車輦内装材製造	石川県白山市
ケーエス染色株式会社 染色加工	石川県能美市
株式会社ヤマトヤ 繊維製品の企画製造販売	大阪市東住吉区
株式会社コマツインターリンク 包装・倉庫・運送	石川県能美市
小松エージェンシー株式会社 物販・総合サービス	石川県能美市



小松精練株式会社

www.komatsuseiren.co.jp/